



季節の変わり目を知らせる節分がもうすぐやってきます。子どもたちにとってちょっと怖い「鬼」が保育園にやってくるあの日です。お家でお話ししているのかちょっとした物音にドキドキ・先生の手をぎゅっと握って「おに？」と怖がっている子供たち・・

そこで今年は幼児のクラスのこどもたちに「節分の鬼に来てもらうかどうするか」尋ねました。はまグループとかぜグループに分かれて考える時間を取りました。

グループのカラーで「いつも同じパンツをはいているから新しいパンツをプレゼントしたい。」「歌も歌ってあげたい。」「金棒で頭をポンポンしてもらいたい」（これは去年の鬼がしてくれたこと）など大変歓迎するグループ。もう一つのグループは「いや絶対に会いたくない」「もし来るなら別の部屋に逃げて静かに鬼がいなくなるまで待つ」「こわいからいやだ！！！」と全く歓迎できないグループ。

かえで保育園に来る鬼は心が弱くうそをついたりする悪い心・意地悪な気持ちなどを鬼に持って帰ってもらうという役割で鬼にきてもらっていました。スタイルの良い鬼や足の長い鬼・なかには力の強い鬼もあり毎年いろいろな形で登場していましたが、子どもたちと話をしていると「自分たちも鬼になりたい」と鬼の面を作り演じるようにもなりました。

今年はかわいい子鬼を交えて鬼に歌やパンツのプレゼントをし、みんなで集って鬼と仲良く一日過ごし、鬼に気持ちや悪い心を持って帰ってもらうことになりそうです。



保育園での行事は大人が決めたシナリオで進めていくのではなく、子どもと「どうしたいか?」「何が大切か」を話し合いながら組み立てていきます。成長発表会の頃からまた一つも二つも力がついたこの時期。幼児クラスは「人の話を聞いたり、自分なりの考えをもって人に話せる力がついてきました。

2月8日の「たのしいかえでの日」ではめばえからだいち、そして職員の作品から、子どもの様子や保育園生活が体感してもらえるような様々な表現方法で作品をご披露します。初めてのめばえさんも「こどもになにができるの?」と不安な保護者の方もいらっしやるかと思いますが、そこは毎日の生活の中の体験と子どもの見守りで見つけた一瞬をまとめています。どうぞご覧ください。また、幼児の作品もゆっくり見ていただくと成長の行く末が楽しみになられると思います。当日はほっこりできるようだいちのお店もご用意しています。繰り合わせいらしてくださいね!

ダンディタイム

先日は園庭の桜の木を移動しました。

築山のところにしっかりと根付くことを願っています。

来年以降も皆さんが集いやすい会として継続できるようよいこネットでお知らせすることになりました。方法は後日お知らせします。

かえでカフェ

2月5日(水) 16:30~18:00

フラダンスの練習をします。ご参加ください

今年はや暖冬で過ごしやすい日が続いています。買い物へ行くと野菜の値段が安くつい買いすぎてしまうぐらいの値段に喜んでいましたが、先日のニュースで暖かさのため野菜の成長が早く収穫量も過多による安値になり、春以降の野菜の成長に影響が出ると言われていました。

12月のかえでゆうびんでは、園長が地球温暖のことで「自然の事象のリズムが合わず、世界中の災害のことについて考えて行かねばならない」と発信しています。私に何ができると考えていた時に研修で「SDGS」エスディーゼーズ（持続可能な開発目標）の話を書く機会がありました。

エスディーゼーズ（持続可能な開発目標）、2015年に国連で2030年までによりよい世界を目指すために採択された17の国際目標です。

この目標は貧困や飢餓・福祉からまちづくり・そして自然を守るまで皆が考えることが一番重要なだと訴えていきます。ご存知の方も多くいることと思いますが、環境問題のことだけではなく、世界中の子どもの権利



を守るための内容も含まれています。豊かな日本で暮らす子どもにとっては、あまり身近な問題でないようなこともあります。子ども向けの書籍やインターネットなどたくさん紹介されています。一度ご覧になって見て下さい。また、かえで保育園の保育課程で掲げている「地球環境を考えるエコ保育」を自分事として、また未来ある子どもたちと共に考える機会をもっていきたいと思ひます。

主幹保育教諭 藤森 寿美

幼児さんが昔の世界を広げている頃、乳児さんもなにやら昔の雰囲気。タンバリンや鈴でシャンシャンと鳴らしていると一人が「でんでんわ〜♪」と歌い始め、それを聞いたお友達も聞いたことある！と嬉しそうに後ろに並び、でんでんわの行進が始まったのです。トイレに行くのも嫌！というお友達もでんでんわの行進だと「でんでんわ〜」と意気揚々と楽しんでトイレに行くことも出来ました。忍者に変身するお友達もいて、頭に布を巻いて人差し指を立て、「にん！」と忍者ごっこも。大人が何かを伝えるわけでもなかったのですが、幼児さんで広がっている昔の世界は自然と乳児さんにも伝わっているのだと嬉しく、自分以外の世界にも興味を持ち始めているこの時期を大切に繋げていきたいと思ひます。

乳児リーダー 谷角 早紀

先生コーナー

幼児さんと一緒に食べるご飯の時間が大好きです。

ある日のこと。だいちさんがいるテーブルに座るやいなや「先生顔まっかっか！」

わたしは冷え性で冬場足先が冷えると頬が赤くなるのがよくあります。「熱があるの？」とAちゃんが一言。「ううん、寒いとこうなるの」と答えると、じゃあ〇〇が暖めてあげる！と手をぎゅーっとしてくれたり、温かいお汁を飲むといいよ。と言ってくれる子もいて、寒かったですがなんだか温かい気持ちになりました。

きっとこの子の周りにはこうやって優しく声をかけてくれる環境があるからこんな言葉が出てくるのだなあと感じた最近の出来事でした。子ども達と過ごす毎日が本当に大切な時間です。

栄養士 中西瑞紀

～めばえぐみ～

ねらい：「手先遊びを楽しむ」「好きな遊びを楽しむ」

う た：「ひなまつり、あたまかたひざぼん、かごかご」

寒い日でも、元気いっぱいな子どもたち。先に外に出ているお兄ちゃん、お姉ちゃんを部屋の中から見つけると、「わたしも！」というように指をさしながら声を出してくれています。少しずつ好きな遊びを見つけてきて、夢中になって取り組んでいます。自分の中でお気に入りの場所や玩具をこれからたくさん見つけてどんどん取り組んでいって欲しいです。

なにつくる？

お部屋の中に新しく、ままごとコーナーを設置しました。最近のご飯でもスプーンを使い始めたこともあり、玩具のスプーンを使ってご飯作りを楽しんでいます。初めは一人で取り組んでいた子も、最近では友だちとのやりとりを楽しむようになってきました。お皿に具材をそっと乗せると「みてみて！」というように嬉しそうにもって来てくれる子。エプロンや三角巾をつけてもらうとご飯屋さんになりきったかのように真剣にご飯づくりを楽しむ子。そうした友だち同士で「あ～ん」「ちょうだい！」といった言葉のやり取りも見られるようになりました。今後もままごと遊びを通して、子どもたち同士のやりとりや言葉の広がりも楽しんでいって欲しいと思います。



もっともっと！！

室内では久しぶりに新聞紙遊びをしました。夏ごろに初めて行った時には新聞の感触やぐしゃっと握ってみることを楽しんでた子どもたち。少し大きくなった今回は自分で小さくちぎってみたり、ごろんと新聞の海に寝転んでみたりと遊びもダイナミックになっていました。先生に上から新聞を投げてもらおうと手を大きく上に上げたり、友だちと一緒に笑いあったりとみんなと同じ空間で遊ぶ楽しさを感じているようでした。最後に大きな袋を用意すると「ないない！！」とみんなで声を掛け合いながら新聞を袋に入れていってくれるみんな。一人が楽しそうにする姿を見ると、「ぼくも！わたしも！」と真似し合あい、あっと言う間にクラスに広がっていく様子に1年の成長を感じました。これからも9人でどんな楽しいことを見つけたいこうか楽しみです。



“担任の思い”

めばえ組での生活も1年近くたちました。最近では自我がしっかりと出るようになり、「うん！」「いや」といった返事や簡単な言葉もどんどん増えていっています。子どもたちも言葉のやり取りが楽しいようで、遊びの中で積極的に友だちや保育者に話しかけにきてくれます。まだまだはっきりとは聞き取れないことも多いですが、きらきらした目で必死に伝えようとしてくれる様子に微笑ましさや成長を感じます。保育者も一人ひとりと向き合い言葉で伝えることを大切にしていきたいと改めて思います。お家でもこんな言葉覚えたよ、こんなやりとりを楽しんでいるよといったエピソードがありましたらぜひ教えて下さい。

高田 奈沙・立田 瑛怜菜・植木 雅

～ふたばぐみ～

ねらい：「寒さを感じながら戸外で身体を動かして遊ぶことを楽しむ」

う た：「おもちゃのチャチャチャ」「おにのパンツ」「まめまき」

わらべうた：「てんやのおもち」「どんぶかっか」「まめっちょ」

せいちょう発表会では、子どもたちの日々の姿をご覧いただけましたでしょうか。当日は緊張している様子も見られましたが、子どもたちの大好きなわらべうたやバスごっこなど遊びの様子も見ただけだと思います。今後も子どもたちの大好きなことや興味のあることに寄り添い、一日一日を大切に過ごしていきたいと考えています。



～友だちと一緒に嬉しいね～

ふたば組の子どもたちは、「友だちと一緒に」ということが嬉しい、楽しいと感じるようになってきました。洋服の色や使っている玩具、食べている給食など、「〇〇ちゃん、一緒だね～」「ね～」と微笑み合う姿が多く見られます。友だちと同じ空間で遊ぶ姿も増えてきました。砂場ではケーキ作りが始まりました。自然と「ハッピーバースデー」の歌をうたいはじめるふたば組の子どもたち。近くにいる友だちの名前を全員呼んで、誕生日をお祝いしていました。室内でも園庭でもお店屋さんごっこを楽しむ姿も見られています。「いらっしゃいませ～」「なににしますか～?」「はい、どうぞ」「食べていいですよ～」と会話のやりとりが盛んです。子どもたちのイメージを大切にしながら、遊びの広がりを見守っていききたいと思います。



～大好きなわらべうた～

季節に合わせて子どもたちとわらべうた遊びを楽しんでいます。寒くなってきたので「どんぶかっか」という歌に合わせてお風呂に入る、身体を洗う、身体を暖めるといったわらべうたに親んでいます。わらべうたは室内でするものではなく、園庭でも楽しむことができます。繰り返し歌って遊ぶことで、園庭に出ると「寒いからお風呂に入ろう」「〇〇ちゃんも行く!」「どこ洗う?」「〇〇ちゃんは頭洗うよ!」と、友だちや保育者と会話のやり取りも楽しみながら遊んでいます。室内では「大根いっぽん」や「むかえのおさんどん」「まめっちょ」などを歌っています。子どもたちも歌を覚え、「ねーねー、先生!大根いっぽんしようよ～」と誘いかけてくれます。対保育士だったのが、今では友だち同士で歌い合ったり、人形に歌って遊んだりする姿も見られるようになりました。子どもたちが楽しくわらべうたあそびができるよう、環境を整えてかかわっていききたいと思います。



“担任の思い”

子どもたちと過ごす中で、少しずつ自分の思いを言葉で伝えようとする姿が増えてきたように感じます。「これ今〇〇ちゃんが使ってる」「終わったら貸してね」「これ使っていていいよ」など、子どもたちの成長に驚かされる毎日です。転んだ友だちを見つけると、近くまで行って手を引き、「大丈夫?」「痛かった?」など、優しい言葉がたくさん聞かれます。子どもたちのその優しさを受け止め、「〇〇ちゃん、助けてくれたんだね。優しいね。ありがとう」と保育者も素敵な言葉をたくさん伝えていきたいと思っています。

安藤 由佳・原田 千尋・林 千紗

～つぼみぐみ～

ねらい：「保育者の声掛けから友だちの気持ちに気づく」

う た：「幸せなら手を叩こう」「うれしいひなまつり」「三匹のこぶた」

「今日もお団子作ろう」「みんなでしっぽ取りしよう」と子ども同士で遊びに誘い合うことが増えてきました。しっぽ取りは子ども同士でしっぽをつけたり、ボールをどこまで高く上げることができるかを競い合ったり、一緒に遊ぶ楽しさを感じているようです。幼児さんがだるまさんがころんだや縄跳びや鉄棒で遊ぶ様子をじっくり観察して、真似してみたり「どうやってするの？」と子どもたちで声を掛け合う姿も見られます。様々な遊びから子ども達の中で“友だち”の存在が大きくなってきているようです。

～一緒にやってみよう～

今までは1人で遊んでいた積み木やままごと遊びも最近は「高いのできたね」「くっつけてみよう」と1人1人が作った積み木を繋げたり「〇〇くんのご飯だよ」とタオルを広げてピクニックごっこが始まったりと子どもたちの会話から遊びが広がっています。ビー玉転がしでは「ここ持っててね」と声をかける間に、段差をつけて道を繋げることで協力し合うことの楽しさにも気づき始めているようです。子どもたちの関係性がより深まるよう、たくさんの不思議を見つけたいです。



～おじゃまします！～

園庭でだるまさんが転んだやサッカーをする幼児さんを見て真似て遊ぶことが増えてきました。「何やってるのかな」「どうやってやるの？」と保育者に尋ねたり、傍まで近寄り様子を見ていることもあります。子ども達が幼児部屋に遊びに行きたい時は、ドアの前で部屋の様子を見ながら「お兄ちゃんお姉ちゃん何してるのかな」と話します。遊びたい気持ちはあるけれど“入りたい”の言葉は出てきません。保育者から入ってみる？と尋ねると嬉しそうに頷いて「おじゃまします！」と何をして遊ぼうかキラキラした目で部屋に入っていきます。つぼみ組にもある積み木やままごと遊びで遊ぶ子もいれば、お茶屋さん、コマ回し、塗り絵など新しい遊びに興味をもつ子もいます。これからどんな遊びが広がるか楽しみです。



“担任の思い”

これまでは嬉しかったことや困ったことを保育者に伝えにきていました。最近では子ども同士で伝え方や協力し合う楽しさを感じ始めているのではないかと思います。時にはお互いの気持ち伝わらないことに葛藤することもあると思います。その経験も自分とは違う新たな考えの1つとして伝えることができるよう関わっていきたいです。保育者から見守られている安心感から様々なことをやってみたいと次への自信に繋げていけるようにしていきたいです。

日笠 加菜・星加由美子・山本あかね

～いぶきぐみ～

ねらい：『友だちと過ごす心地よさを感じる』『身の回りのことを自分でしようとする』

う た：『がんがん』

暖かいと思えば気温がぐっと下がり、1月は体調を崩す子どもも多かったように思います。そんな中で習得したのが“自分で鼻をかむこと”でした。片方の鼻を押さえながら息を吐く、2つの動作を一度に行う難しさに苦戦しながら、取り組んでいます。

つい1ヶ月ほど前に、“前回りが出来るようになりたい！”と盛り上がっていたいぶきさん。1月にはなんと、“逆上がりブーム”がやってまいりました。一人の子が頑張っている姿を見ると闘争心がわくようで、あっという間に鉄棒の空間が満員になります。手伝って欲しいけど一人でも出来るようになりたいと、様々な思いを抱きながら頑張っているところです。

“毎日のくりかえし”

気付かないほど当たり前に行っていることでも、毎日の繰り返しが自然と習慣となっています。先月、着替えた後の服をラックの袋から、鞆の中へ片づけるようにと流れを変更しました。2、3日は以前の場所に向かうことを予想していたのですが、2週間、3週間経った頃にふと以前と同じ場所へ向かい、“あれ、袋がない…”とたたずむ子もいました。その姿が可愛く、こっそりと何も言わずに見守っていました。すると、5秒ほど立ち止まって考えた後に、ぱちん！と閃いたように駆け足で鞆の方へと戻っていったのです。“そうだった、そうだった”と心の声が聞こえるようでした。そして服を鞆の中へ片づけながら、一人照れ笑いをしてふふっと微笑む姿がまた可愛いいぶきさんでした。



“てっだって” “してあげたい”

おもちつきの一コマです。「おうちからエプロンもってきたよ」と、みんな嬉しそうに見せてくれました。

おもちを丸めにいこう！と張り切って準備を始めたのですが、「エプロンどうやってするの」「先生して～」と声があがりました。これはチャンスだと思い、傍にいたひかりさんをお願いすることにしました。普段はだいちさんにお手伝いをお願いすることが多いので、ひかりさんも張り切ってやってきてくれます。「手伝って」と言う勇気がなかなか出ないいぶきさんと、「手伝おうか」の一言に恥ずかしさのあるひかりさんもいましたが、その後静かにエプロンの紐を結んでくれる姿もまた、微笑ましく感じられました。

数週間後、ひかりさんとだいちさんが雪あそびに出かけていた日のことです。

お昼寝から起きたつぼみさん、いぶきさんが、階段を上ったところで絵本を読んだり、おやつまでの時間をまったりと過ごしています。「つぼみさんもおやつ出来たよって、誘ってあげる？」といぶきさんに声をかけると、「わかった！」と明るい声が返ってきました。そして階段からおりてきたいぶきさんは…なんと、つぼみさんと手を繋ぎ、胸を張り、得意気な表情で歩いていました。



ランチルームに向かうと、手を洗う前につぼみさんの服の袖を折ってくれるのです。手を洗う時にも、「こうやってね、洗うんだよ」「せっけんは、(ポンプ) いっぱいだよ」と優しく教えてくれました。こんなにも相手の様子を伺いながら、相手のペースに合わせて関わろうとしてくれるいぶきさんの姿に、成長と喜びを感じた出来事でした。その様子を見ていた保育者と相談し、この日はつぼみさんといぶきさんが同じテーブルに座り、パーティーのようにしておやつをいただきました。

“担任の思い”

実際のところ、手洗いは指先だけを水につけたり、石鹸を使いすぎてしまったり…いぶきさん自身できることも増えた分、面倒に感じている場面も多く見られます。ですが、つぼみさんとの関わりでは、自分の知り得たことを一生懸命に相手に伝えようとする姿がありました。今までお兄さんお姉さんにしてもらったことを、今度は自分たちが年下の子へ…と、自然と繋がっていくのですね。きっとひかりさんは頼ってもらえる喜びを、つぼみさんは頼れる人の存在を感じていくのだと思います。これからも、クラスというくくりだけでなく、皆が同じ屋根の下で温かく育てて欲しいと思います。そして、してもらおうことが当たり前のようにあった時期を経て、今度は“誰かのため出来ることがある”と気づくことで自信にも繋がってくれば嬉しいです。



～ひかりぐみ～

ねらい：「不思議に感じたことを自ら考え、調べる」

う た：「ありがとうの花」「私と小鳥と鈴と」

「赤鬼と青鬼のタンゴ」が好きな子ども達。朝の集いで歌い始めてから、自然と口ずさみながら歩いていたり、鬼の面を作って友達を驚かせてみたり、楽しそうに毎日過ごしています。雪あそびを終え、子ども達の中では「次は節分だ」「もう少ししたら鬼が来る」とドキドキしている姿もあります。楽しく歌を歌い、「鬼と仲良くなれますように」と願う子ども達です。



“新しい仲間”

12月からカブトムシのお家を作っているひかり組。どんな家がいいか子ども達で話し合う姿もあり、アートコーナーで使えるものはないか探索していました。ある日、園庭で遊んでいる時に幼虫を見つけました。幼虫を観察していると、「なんだか少し違う」と何かに気付いた子ども達。カブトムシの図鑑を持ってきて調べてみると、「カブトムシではなくクワガタムシではないか」と判明しました。

図鑑と幼虫を見比べ、「顔にね、角みたいなのが2つあるからこの幼虫はクワガタムシだと思う」とみんなに説明していました。クワガタムシであると知ると、「カブトムシとは別の家を作ってあげよう」という一声からクワガタムシの家も作ることになりました。小さめの虫かごを用意し、「どんな家がいいかな」と子ども達と計画中です。カブトムシの家では、ドアや煙突など様々な意見が出てきたので、次はどんな家が出来ると楽しみます。カブトムシは定期的に土を掘り返し、元気に育っているかなと子ども達と確認をしています。少しずつ大きくなっているカブトムシの幼虫に「だいち組になったらカブトムシになっているかな」と自分の姿と重ねつつ、大きくなる姿を実感している子ども達でした。



“はじめてのゆきあそび”

ひかり組になり初めての雪あそびに行きました。行きのバスでは、「早く六甲山に着かないかな」と楽しみで待ちきれない様子でした。六甲山に着き、ウェアに着替えていると小ぶりでしたが本物の雪が降ってきて、「雪で遊びたい」思いが高まりました。そりを手に取り、だいち組のペアと一緒に坂を上りワクワクした様子。そりをぎゅっと握りしめ滑ると、笑顔で坂の上まで登ってくると「先生、次は思い切り押ししてね」とたくさん滑りそりを堪能しました。お昼ご飯のカレーで身体を暖めた後は、雪合戦や雪だるま作りなどをしました。雪合戦では友達とライバルに、雪だるま作りでは友達と協力し、小さな可愛らしい雪だるまができました。普段見ることのできない雪を楽しんだ子ども達は、帰りのバスでは気持ちよさそうに眠っている子どもが何人かいました。保育園にもどってきた子ども達は「楽しかった」と笑顔を見せてくれました。



“担任の思い”

子ども達の中で「だいち組になる」という気持ちがどんどん大きくなってきていることが日々の生活の中で感じるようになってきました。その日々の中で生き物を育てているうちに自分と重ね、大きくなる姿を楽しみにしているように感じます。初めての雪あそびへ行き、私自身子ども達と思いきり楽しむことができました。だいち組になったらどんな楽しいことがあるのだろう、どこに行こうかな、と今から楽しみな子ども達です。

松岡 桃花

～だいちぐみ～

ねらい：まわりの存在に気付き、感謝の気持ちを伝えあう
う た：「ありがとうこころをこめて」「あしたははれる」

“もうすぐ1ねんせい”

年が明けて、みんなで十日えびすに行ってきました。みんなでお参りをした後、毎年行う小学校への準備で商店街の文房具屋さんで、ノートと鉛筆を一人一つずつ買いました。

その日から、次の日の持ち物を自分たちで確認し合って、ノートに書きます。

毎日とても楽しみにしてくれているようで、「ノートを書く時間はまだ?!」と何度も聞きに来ていたり、いざ始まるととても真剣な表情に切り替わります。普段は丸くなっている机を、その時間だけは縦向きに並べて座ると「なんだか1年生みたいじゃない?」「学校ってこんな感じかな?」と嬉しそうで、わからないところがあると、隣の席のお友達に聞きながらも一生懸命書き込んでいます。

もうすぐ1年生になることが楽しみになってくれると嬉しいです。

お家の方もノートを見てあげてください。



“みんな なかま”

12月に体育遊びでラグビーの小さい「めちゃビー」を体験してから、園庭では普段のあそびのなかでも、だいち組で集まって毎回真剣勝負で、泣いたり笑ったりしながらも「めちゃビー」を楽しんでいます。

最近では、室内でもだいち組で集まってルールのなかで遊ぶ姿が増えました。トランプやかるたなど、畳の上に丸く

なって集まり、楽しそうに過ごしています。

そんなある日、だいち組だけで過ごしている時にAくんが困った顔をしてやってきました。話を聞くと、「お昼寝の時間だから静かに過ごさないとみんなが起きちゃうのに、だいち組みんな気付いてくれない。」とのこと。自分の気持ちや考えを自分で伝えて欲しいこともあり、見守ることにしました。

しかし、Aくんの声に気づいて一緒に声を掛けようとしてくれたのは一人だけでした。

誰か一人が困っていてもどこか他人事になってしまうことが気になり、子どもたちに声をかけると、15人全員で話し合いが始まりました。

「困っていたのに知らん顔するもん。」「気づいてくれなくて悲しい気持ちやった。」と話し出すAくん。その話を聞いてBくんは涙を浮かべながら「気づいていたけど、ぼくは静かにしていたからいいかなと思っちゃった。」と話し出し、そこからみんなが感じていたことを一人ひとり伝えあっていました。

「成長発表会のときはさ、ワンフォーアオール! って言ってたのに、今日はできてなかったね。」という話にも繋がり、「一人が困っている時はみんなで助けてあげる。」とみんなで決めて話し合いが終わりました。「めちゃビー」などの遊びを通して真剣に気持ちがぶつかり合い、何度も喧嘩して、運動発表会や成長発表会を通してみんながひとつになり、協力することを繰り返してきたことで、相手にまっすぐ自分の気持ちを伝えること、それを聞いて相手の気持ちを考えてみようとする姿が見られるようになってきました。今回、Aくんが勇気を振り絞って話し出してくれたことで、ひとりひとりが真剣に気持ちを伝えあう話し合いになりました。

“担任の想い”

だいち組になったばかりのことを思い返すと、今の姿はなかなか想像できないほど成長を感じた話し合いです。自分の気持ちを相手に言葉で伝えることや、相手の気持ちになって考えることを大切にしてほしいと感じていても、どうやって伝えれば、

伝わるのか、試行錯誤しながら過ごしてきました。言葉で伝えて、そのままの言葉の意味を理解することはできても、いざ喧嘩や話し合いが起こった時に、自分の気持ちをまっすぐ伝えたり相手の気持ちに寄り添うことを自然にできるのはとても難しいことでした。

しかし毎日の経験のなかでどれだけ喧嘩をしても、相手の気持ちに気付け、素直に向き合うことの大切さに気付いたからこそ自然にできるようになったと感じます。

今回の話し合いがあっても、誰かが喧嘩をしていると仲介をしてくれたり、話を聞いてくれる姿が見られます。

自分のことじゃないから知らないではなく、小学校に行っても周りのひとの存在に気付いて、ありがたいの気持ちがあられるひとに成長して行ってほしいと思います。

林 奈津美

1月より育児休暇から復帰する福井真裕子です。

1歳5か月になる息子がいます。初めての育児に悩むこともありますが、毎日成長を感じながら楽しく、貴重な時間を過ごすことができました。息子が1月から保育園に通い始め、最初は泣いてお昼寝もできず、帰ったら今までに見たことがないくらいに泣きわめいて自己主張していました。今では笑顔で保育園に通うようになりましたが、私も子供を保育園に預けるという初めての経験を通して保護者の方々の気持ちに気づけた部分もありました。

まだまだ子育ても始まったところですが、経験したことも活かしつつまた子供たちと楽しく過ごしていきたいと思います。また保護者の方々と子育ての悩みを共有したり、成長を喜んだりしながらたくさんお話もできたら嬉しく思います。これからよろしくお願いたします。

福井 真裕子

保護者の方からのおはなしコーナー

入園してすぐはほとんど汚れなかった洋服が、ハイハイできるようになると膝が泥だらけになり、今では全身泥だらけに！成長を感じる楽しい洗濯物です。

めばえ組 なぎささん

3歳を過ぎ、お兄さんらしくなってきた息子。色々と叱ってしまう事が多いのに、妙に物分かりがいいと逆に叱りすぎたからではと心配に。

そんな時、「これはまだ大きいから保育園に着て行っちゃダメだよ」と言った服を勝手に着てにやにやしているのを見て、「あ、全然大丈夫だよ」と安心してしまう勝手な親心なのでした。

つぼみ組 ゆきさん

成長発表会の前日「どんなところを一番みてほしい？」と聞くと「〇〇くんのこんなところや〇〇ちゃんのこんなところ…」とお友達の名前が次々と出てきました。自分だけでなくお友達の見どころも熱く語る姿はまさにだいちで育まれた“ONE FOR ALL”精神だな〜とありがたく思いました。

だいち組 なおこさん

もうすぐだいちさんということもあり、少しずつ、少しずつできないことに取り組む気持ちになってきた娘。無理せず頑張ってる憧れのだいちさんになって欲しいと思います。

ひかり組 あきこさん

毎朝、泣きながらのスタートで始まったひかり組での1年間。

思ったことを口に出して言うこともなかなかできなかった娘が、保育園での出来事など楽しそうに話してくれることも増え、あれが楽しかった、これは嫌だったと、思ったこともいうようになりました。今では少しずつ笑顔でバイバイをするようになって本当にこの一年で成長を感じています。保育園生活最後の1年間を楽しく過ごして欲しいです。

ひかり組 ともみさん

保育園で折り紙が大好きになった娘。「自分で本を見ながら折ったんだよ」とペンギンやカメを得意げに見せてくれます。私が「折り紙名人やね！」と言うと、家でも折り紙で海や海の生き物をたくさん作ってくれました。「小さな頃はすぐ折り紙をぐちゃぐちゃに丸めていたのにな…」と思い、娘の成長を嬉しく思う今日この頃です。

ひかり組 まゆさん

「大きくなったらかえで保育園の先生になる」という娘。卒園の寂しさから、いつかまた戻って来たいと思い、「先生になる！」と決めたようです。

先生だったらどうするかな？といつも考えるようになり、公園でごみを拾ったり、お友達のけんかの仲裁をしようとしていたりしています。前向きな気持ちを応援したいです。

だいち組 けいこさん

☆お台所から☆

年が明けてから1月もあっという間に過ぎもう2月になりました。冬の寒気もようやく緩み始め、日差しの明るさが春の気配を感じる季節になりましたね。今月も冬野菜など旬の食材を多く取り入れ、体が温まる献立を作りたいと思います。

<1月の食育活動の様子>

1月7日のおやつに七草がゆをしました。春の七草（せり・なすな・ごぎょう・はこべら・すすな・すすしろ・ほとけのざ）を午前中につぼみ組と幼児クラスに持っていくと、つぼみ組では、（すすな）や（すすしろ）を見せると「小さい大根だ」「かぶも小さいね」と話をしていました。幼児クラスでは「これ全部食べれるの?」「おもしろい形してるね」「朝に七草がゆ食べたよ」と話していました。又、七草がゆはお正月でたくさん美味しいものを食べたお腹を休めることと、これから1年病気になることを願って昔から食べられてきたこと、（すすな）は神様をよぶ鈴に似ていることや、（ほとけのざ）は仏様が座っている葉に似ていることから名がついたことなどを話すと「神様を呼ぶってすごいね」「苦手だけど頑張ってみる」「病気になるないように、いっぱい食べる」など思ったことを色々話してくれました。

お昼ご飯の前にいぶき組の子どもたちに絵本を読みました。（もったいないばあさんのいただきます）という本で、りんご・バナナ・いちご以外は全部嫌いという小さな女の子に、食べ物にはそれぞれ体にいい働きがあるから残してしまってもったいないよというお話です。本を読み終わると「僕は何でも食べれるよ」「ごはんもパンも嫌いってお腹いちゃうね」など話していました。その日のお昼ご飯はカレーライスだったため、三色栄養のボードを使って今日の食材には体にどんないい働きがあるかを話しました。一緒にご飯を食べていると「お肉は体を大きくするんやね」と絵本で覚えていたことを話してくれました。

<2月に予定している食育活動>

- ・手作り味噌作り
- ・かぶの葉を使ってふりかけ作り
- ・節分の日に炒り豆を作ります。

<2月の献立 旬の食材>

かぶ	ブロッコリー	ほうれんそう	こまつな
だいこん	さといも	りんご	いよかん

<かえで保育園のおすすめレシピです♪>

<じゃがいも餅>

【材料】

- ・じゃがいも 2個
- ・片栗粉 大さじ4
- ・塩 小さじ1
- ・油 少々

【作り方】

- ①皮を剥いたじゃがいもは竹串がすっとささるぐらいに茹で、すぐに潰した後、片栗粉と塩を入れてこねる。
- ②①が粉っぽさがなくなりしっとりするまでこね、円形に形を整え、油をひいたフライパンで両面こんがり焼けば出来上がり。
※②の時に中にピザチーズを入れたり、しょうゆをぬって焼いてのりで巻いて食べても美味しいですよ。



春の七草



いぶき組に絵本を読みました



実習生の受け入れをします。

2月17日～28日 神戸海星女子学院大学
1名

17日～29日 神戸教育短期大学
2名

こんなことしたよ♪

1月8日はお餅つきをしました。
ダンディタイムのお父さん達が力を込めて
ついでくださったお餅は柔らかくモチモチ
でとても美味しかったです。
お餅つきの様子を真似っこをしたり、
「よいしょ、よいしょ！」と掛け声をかけ
たりして、かえでカフェのお母さんたちにも
お手伝いいただき、みんなほっこり♪
お手伝いありがとうございました。



1月17日は避難訓練を行いました。
阪神淡路大震災の話をもみな真剣に
聞き、それぞれが「命を守る」ことを
考える時間となりました。
また、昼食では食べ物があることに感謝を
しながら、汁物やおにぎりを味わいました。
また、午後からは浜脇小学校の防災訓練に
だいちぐみが参加させて頂きました。
下記の写真はその時の様子です。



★お願い★

- 2月8日は今年度最後の行事、作品展「たのしいかえでの日」です。めばえ～だいちまでの子どもたちそれぞれの思い、考えが詰まった一日です。ご家族のみなさんでお越し下さい。ご家族のみなさんでお越し下さい。
時 間：10:00～14:00
当日は写真撮影を許可しています。
家庭保育もご協力ください。
- 2019年度のクラスでの保育の最終月となります。3月からは進級していくお部屋で遊んだり過ごしたりします。個人ロッカーの整理を進めて下さい。



2月予定

- 2月 4日(火) 節分の会
- 5日(水) かえでカフェ(フラダンス)
16:30～17:50
- 8日(土) たのしいかえでの日
- 12日(水) 誕生会
- 14日(金) だいち園外保育
- 20日(木) 子育て支援(スマイル)
- 21日(金) だいち浜脇小学校交流
- 26日(水) だいち地域交流(用海幼稚園へ)
- 28日(金) 月例健診
- 29日(土) 新入園児説明会・健康診断
- 10日・26日 絵画
- 6・7(だいちのみ)・13・20
27・28(いぶき・ひかり) 体操
懇談会
- 3日 めばえ
- 4日 ふたば
- 5日 つぼみ
- 21日 だいち
- 25日 いぶき
- 3月
- 4日 酒蔵見学
- 14日 卒園式 (ひかりのみ参列)